

3、競技方法・申込注意事項

- ア スタートコールは「イングリッシュコール」で行います。
- イ 不正スタート（フライング）は1回目で失格とします。
- ウ 2種目連続での競技となる場合があります。
- エ 800mは、最初のカーブが終わるまでセパレートレーンで実施します。
- オ 30m（伴走可）に伴走者と出場される場合は、伴走者と一緒にスタートからゴールまで競技を行います。伴走者は各自で手配してください。
- カ オープンレーン200m、400mは、オープンレーンの種目として実施し、スタート後すぐにオープンレーンで競技を実施します。また、他の障害区分の方の中で知的障害を重複される方も対象競技となります。
- キ 1500mは、制限タイムを設けます。なお、制限タイムは8分とします。
- ク 立幅跳での声、音源による援助はできません。
- ケ 立幅跳と走幅跳の両方に申し込むことはできません。
- コ ジャベリックスローとソフトボール投は、区分8を除き、双方にエントリーはできません。
- サ 障害区分24、25の方は、50mと100mの両方に申し込むことはできません。
- シ ▲※1に出場可能な方は、障害区分10、11、12、16、17、18、23の方に限ります。
- ス ▲※2については、障害区分10、11、16、17、23の方に限ります。
- セ ▲の堺市オープン種目に出場される方は、全国障害者スポーツ大会への選考の対象とはなりません。
- ソ 介助者が介助できる範囲は、競技の開始まで（競走競技の場合はスタートまで）と、競技の終了後（競走競技の場合はフィニッシュの後）に限ります。また、いかなる場合においても、競技におけるグラウンド面からの応援や助言は認められません。応援等はスタンドから行ってください。
- タ 競走競技において、伴走者が認められるのは、障害区分24・25に該当する方と、30m（伴走可）のオープン種目に出場される方が対象となります。
- チ 競技を行うときは、競技用の服装を着用してください。素足やサッカーシューズでの競技出場は禁止します。

4、特記事項

該当する全ての番号を記入してください。

番号	特記事項内容
1	特段の理由により、競技場内に同伴する介助者の入場を希望 (その理由を特記事項欄に記入してください。原則、招集所から解散所までは、補助員等が介助します。)
2	障害区分24又は25の競走競技、30m（伴走可）種目で伴走者を同伴 (伴走者は各自で手配してください。)
3	障害区分24又は25の50mで音響を希望（この場合、伴走不可）
4	走高跳で、希望する最初のバーの高さ（走高跳出場者のみ） (特記事項欄に「4」と記入し、その後の欄に最初のバーの高さを記入してください。)
5	1500mの自己記録（1500m出場者のみ） (8分の制限タイムがあります。必ず自己記録欄に自己最高記録を記入してください)